

様式第5号別紙1

事業実施報告書

事業名： 高齢者の支え合いと農のある街づくり

団体名： 殿山共同農場きずな

代表者氏名： 高野 宏雄

住所： 東松山市殿山町 21-14

電話： 0493-23-2812

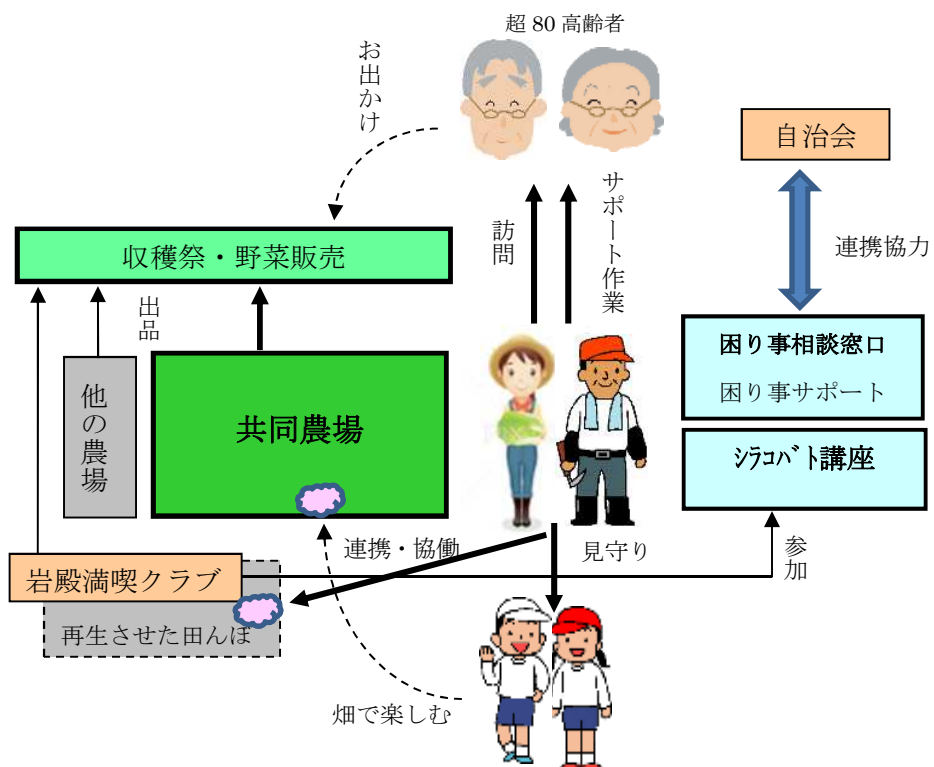
1 事業の目的

もうすぐ土にかえる高齢者が、地域の土を耕し、地域の自然と社会になじみ、より人間らしい最後の日を迎えようとするのが、殿山共同農場の思いです。  
農と福祉を繋げることによって、高齢者が自ら元気を維持し、高齢者同士が支え合い、できれば若い世代とも交流を深め、きずなを強めて、街が生き生きと存続することを願います。

2 事業内容

(1) 事業の概要

60～70代の元気高齢者を中核とし、80歳以上の超高齢者から子どもたちまでのこの町の多世代をつなぐことを念頭に置いて、共同で農作業を行う共同農場を主舞台とし、そこで採れる野菜とその加工物を媒介としながら、住民の困り事サポートにも取り組むことによって、「農と福祉」を繋げる事業を展開します。



① 共同農場の運営

共同作業でメンバー間のきずなを深め、健康的で美味しい野菜を栽培します。高齢者と子供たちを含む住民を農場に呼んで、農場を「憩いの場」として活用します。

② 困り事サポート

殿山の高齢化（高齢化率 42.0%）の中で、困り事が増えてきていることに対応し、月 1 回の困り事相談窓口を開催し、サポート作業を行います。

③ シラコバト講座

「農と困り事サポートのある街づくり」の観点から、周辺の先進的な街づくりの実際を学び、殿山の街づくりが活性化するような講座を運営します。

④ 他団体との交流・協働

殿山町自治会とは、街づくり・困り事対策というテーマを通じて、連携協力し、シラコバト講座・困り事相談窓口の今後について協議していきます。PTA とは、子どものさつま芋作りの再開を実現します。満喫クラブとは、田んぼでのコメ作り、市民の森での落葉を使った堆肥作りに連携して取り組みます。

(2) 事業の流れ

本事業は 6 月 1 日に事業開始以後、事業計画に沿って、

- |               |                         |
|---------------|-------------------------|
| ① 農場の運営       | 憩いの場の改善、農機具小屋の改修、新種野菜栽培 |
| ② 収穫祭などのイベント  | 3 年ぶりに子供の芋ほり会、収穫感謝・共同直売 |
| ③ シラコバト講座     | 農・困り事・まちづくりに関する 6 回の講座  |
| ④ 困り事サポート     | 相談窓口毎月第 2 土曜、サポート作業 8 件 |
| ⑤ 近隣の団体との交流連携 | 岩殿地区にて田植え・草取り・稲刈り・餅つき   |

などを行ってきました。全体の流れは、別紙「R4 年度シラコバト助成事業 年間活動状況」を参照ください。シラコバト講座の開催状況は、下表の通りです。

	講座名	講師	開催日	時間	場所	参加者
1	住宅の困り事	武田建工 <b>武田圭大</b>	7 月 31 日	13~15	自治会館	14
2	労働者協同組合	センター事業団 <b>片桐 融</b>	8 月 20 日	13~15	自治会館	11
3	鳩山ニュータウンの街づくり	NPO ECOM 代表 <b>森 良</b> 鳩山町議会 <b>野田小百合</b>	10 月 19 日	9~14	鳩山 ニュータウン	14
4	これからのまちづくりを考える	NPO ECOM 代表 <b>森 良</b>	11 月 16 日	13~15	自治会館	9
5	「私とお茶」の話	お茶講師 <b>三野宗豊</b>	11 月 29 日	10~12	三野家茶室	7
6	住民に必要とされる街づくり	大山自治会相談役 <b>佐藤良子</b>	2 月 6 日	14~16	自治会館	14

自然薯の植付



自然薯の収穫



岩殿での田植え



田植えの後の交流



講座「住宅の困り事」の武田氏



その直後の困り事相談窓口



鳩山町内での森講師の講演



サポーター会員の芋ほり場面



子どもたちのさつま芋掘り会



芋を掘り出し喜ぶ姿



### (3) 連携・協力機関

殿山町自治会

: 共同農場の「街づくり」への取組みに強い関心を持って頂き、シラコバト講座や困り事相談窓口には毎回参加いただきました。また自治会の広報ルートを使わせていただき、催物の広報をしています。

岩殿満喫クラブ

: 満喫クラブとの連携協力は、春から冬まで、田んぼの設営・管理、田植え、草取り、稲刈り、餅つき、落葉堆肥づくりと、「継続することこそが大事」と考え、8年間継続してやっています。

### 3 成果及び今後の展開

- ① 耕す高齢者たちと共同農場の継続：：殿山共同農場は発足以来 10 年目を目前にして、これからどうするか悩んでいました。そこにシラコバトのお声がかかり、もう一度県からの助成をいただき、1 年間活動を継続できました。土を耕し、野菜を育て、地域の人たちとつながり、獣や鳥や魚や虫たちと地域の自然を堪能し、地域に感謝しつつ人生の最後を元気に過ごす意義を改めてかみしめました。共同農場の組織も、来年度から、高齢化した代表・副代表が交代し、新体制で運営することになりました。
- ② 超高齢者たちと困り事サポート：：殿山町では 60 歳以上が 54.1%、二人に一人が高齢者になりました。これに伴い困り事が増えていること、困っている状況をなかなか周囲に訴えかねていること、地域として困り事に本格的に力を入れるべきことを訴えてきました。殿山の文化の半分は高齢者が担うのだ、ということが浸透するきっかけにはなったと思われます。
- ③ 子どもたちと PTA：：コロナ禍もあって、ここ 3 年間は子どもたちを農場に呼んで一緒に楽しむ催しは遠慮していました。昨年 11 月に 3 年振りに子どもたちがさつま芋堀にやってきました。PTA とともに連携を強め、こうした取り組みを強化していきたいと思います。
- ④ 街の人々と自治会：：街の人々も急速な高齢化の中で悩んでいます。コロナ禍もあり、価値観の変化もありで、隣近所の付き合いが薄れ、コミュニケーションが弱くなり、自治会の役員のなり手も不足するなどの現象が起こっています。  
困り事相談窓口を開設したけれど、あまり相談に来る人たちは多くありません。自治会の広報ルートを活用したり、合同会議で説明し勧誘したりしましたが、事態はあまり改善されません。これは「共同農場の相談窓口」というやり方が住民の支持を受けていないのだと考え、自治会と相談して、3 月からは、「自治会と共同農場の共催」による「困り事相談窓口」として開催することに致しました。  
一方、シラコバト講座では「街づくり」を中心課題として 6 回開催しましたが、最後の講座の後、参加者の感想文を集めました。そこには、「自分たちの街づくり」に対する新鮮な感覚と熱い心が表現されています。  
これを契機として、コミュニケーション豊かな殿山を目指して一層努力する所存であります。

#### 別添資料

1. 「R4 年度シラコバト助成事業 年間活動状況」
2. 催し物の広報
  - ① 困り事相談窓口（令和 4 年 11 月 12 日）（令和 5 年 3 月 11 日：参考）
  - ② 収穫感謝・共同直売（令和 4 年 12 月 17 日）
  - ③ シラコバト講座（令和 5 年 2 月 6 日）

# 年間活動状況

	R4年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
農場の運営	春野菜		夏野菜		秋野菜				農機具小屋改修			
		ビニールハウス作り	自然薯定植					自然薯・菊芋収穫	春野菜の準備			
講座の開催			講座1 武田圭大 住宅の困り事	講座2 片桐 融 労働者協同組合		講座3 森 良、 野田小百合 鳩山ニュータウン	講座4 森 良 これからのまち づくりを考える	講座5 三野宗豊 私とお茶			講座6 佐藤良子 住民に必要と される街づくり	
困り事 相談窓口			第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回		
サポート作業	庭木の伐採	レンガ壁更新		庭木の剪定x2	庭木の剪定	庭木の伐採・ 剪定	不用植木鉢処分 木の剪定	玄関段差修理	庭の除草			
野菜の 販売 共同収穫配布		野菜セット①	朝市 野菜セット②	注文販売①	野菜セット③	注文販売②	注文販売③ 野菜セット④	注文販売④ 子どものサツマイも堀	収穫感謝共同直売 野菜セット⑤		野菜セット⑥	
地域連帯				役員と協議				子ども関係復活				
殿山自治会												
殿山PTA												
岩殿満喫クラブ		田んぼ管理	田植え	草取り		稲刈り			餅つき		落葉堆肥	
組織運営							高齢化関連問題紛糾					
総会				総会：書面議決								
定例会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
アンケート	周辺アンケート集計											
シラコバト事業			事業開始				中間検査				10周年に向けアンケート	事業終了

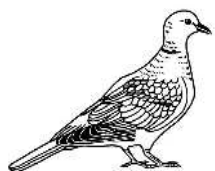
# 困り事についての“相談窓口”を、開設しています！

前は、自治会長の中西さんが参加してくれて面白かったですよ！

- ① 不用になった植木鉢、 ② 隣からはみ出す庭木  
こんな相談事を扱いましたよ。



- 場所** : 自治会館・洋室  
**日時** : 11月12日（日）10:00～12:00  
**相談員** : 塚田清秀（前自治会会長）、加治園子（民生委員）  
**主催** : 殿山共同農場きずな



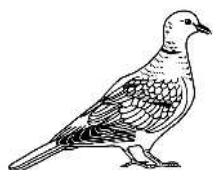
新型コロナ・パンデミックや高齢化に伴い、  
困り事も変化を始めているようです。  
じっくり、話し合しましょう！

## 困り事についての“相談窓口”を、開設しています！

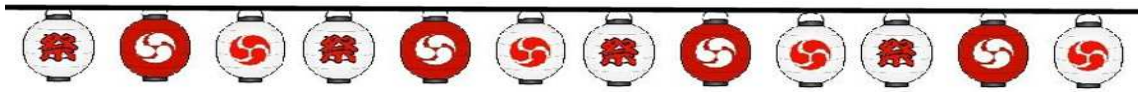
前回までは共同農場の主催でしたが、話し合いの結果、  
自治会と共同農場の共催で行うことに致しました。



- 場所** : 自治会館・洋室  
**日時** : 3月11日(土) 10:00~12:00  
**相談員** : 塚田清秀(前自治会会長)、加治園子(民生委員)  
**主催** : 殿山町自治会 と 殿山共同農場きずな の共催



新型コロナ・パンデミックや高齢化に伴い、  
困り事も変化を始めているようです。  
じっくり、話し合しましょう！ まずは相談を！



# 収穫感謝・共同直売所

コロナが落ち着いてくれないので、今年も抑え気味の開催にします。  
皆さんに感謝しつつ、自分たちで作ったもち米で、お餅を作ります。どうぞ！

お待ちしております



皆様のお越しを

主催：殿山共同農場

日時 12月17日（土） 11:00～14:00

売り切れ次第、閉店とさせていただきます。

場所 自治会館の前庭

お餅；自然薯・菊芋・ヤーコンなど魅力的な品も、どうぞ！



pixta.jp - 11541076





農を活かし、農を味わい、農を楽しみ

困り事にも対処する

シラコバト基礎講座(6)

## 住民に必要とされる 街づくり

### 当日の面白そうなテーマ:

- ① 住民の登録義務
  - ・家族年齢、車両、動物、連絡先
- ② 女性の活躍
  - ・女性チャレンジ賞、ママさんサポート
  - ・女性防火の会
- ③ 助け合い・支え合い
  - ・孤独死0対策、両隣見守りネット
  - ・子と老の見守りネット、無料相談
- ④ キーポイント
  - ・自治会はなぜ必要なのでしょう



「自分は殿山をどうしたいのか」が、  
議論の出発点ですから……

皆様、  
鳩山の次に立川も学びつつ  
殿山の展望を語り合いましたよう

15年間も立川市大山の自治会長を務めた佐藤良子が  
住民に必要とされる街づくりについて、話してくれますよ!

日時

2月6日(月) 13時半~15時半

場所

殿山自治会館

講師

佐藤良子さん(立川市大山自治会前会長)

主催

殿山共同農場きずな

## 住民に必要とされる街づくり

2023.2.6

### 本講座に至るまでの経過

#### 「街づくり」というテーマ

殿山共同農場きずなは、「高齢者の支え合いと農のある街づくり」という旗印のもとに活動を始めて今年で10年目を迎えます。シラコバト基金による助成を受けての2022年度「豊かな地域福祉づくり推進事業」において、我が街：殿山のまちづくりに向けて基礎的な学習をやろう、との方針のもとに、これまでシラコバト基礎講座を開催してきました。9月には鳩山ニュータウンを見学し、10月にはそれをきっかけとして殿山のまちづくりについて議論しました。そして、今回は、立川市大山自治会のリーダーである佐藤良子さんのお話を聞くことになりました。

#### 自治会活動と佐藤良子さん

殿山自治会では、高齢化率42%という条件下で、自治会活動を主導する役員のみ手がない、という状態が続き、この2年間に議論が重ねられ、新しいシステムをスタートさせる段階に至りました。しかし、今後の展開については、様々なリスクも予想され、じっくり考え、みんなで議論を重ねることが重要な時期であります。

一方、講師の佐藤良子さんは、15年間にわたって大山自治会の会長を務められ、現在も相談役であります。そして、この自治会の活動は高い評価を受け、佐藤さん自身も「厚生労働大臣賞」「全国防災まちづくり大賞」「女性のチャレンジ賞」などを受賞され、現在も自治会活動についての講演を全国で展開されている活動家であります。こういう状況の中で開催されたこの講座には、殿山自治会関係では元会長・前会長・現会長および次期会長が顔をそろえるということになりました。

以下に、佐藤良子さんの講演と質疑応答の概要を簡略にまとめます。

## 自治会活動を始めたころ

### 最初の切っ掛け

平成7年（1995年）、私の夫が会計監査をやっておりましたが、監査当日に出席できなくなったので、代わりに私が出席を申し出ました。当時、自治会は男社会でしたが、どうしたわけか、代理出席 ok となりました。監査を始めたら驚くほどの偽造領収書（ex.17,000 円⇒170,000 円）があり、これでは監査が完了しない、ということで総会も延期しました。こういう事態になったのは、「役員だけでなく会員にも責任がある」として、役員選考委員会を新設し、住民投票にかけ、新しい体制をスタートさせました。20代の副会長、30、40、50代の役員が登場しました。

### 自治会会長として

平成11年（1999年）、私は大山自治会の会長に就任しました。その頃、高校生以上の若者も役員になれるようになっていました。私が重視したのは、**住民名簿の登録の徹底**であります。家族構成、自転車も含む車輛、動物の飼育、いざという時の連絡先などの登録を徹底しました。これと併せて、自治会関連の全行動における事故などに対する**保険システム**の確立をしました。

こうした会長就任の年、私に対する猛烈ないじめが登場しました。玄関への嫌がらせコメント、自転車のタイヤが17回もパンク、ポストの中に毛虫・へび・やもり・ムカデが投入されるという事態です。その上、自治会の駐車場管理に関連してヤクザも絡むという状況でありました。でも、住民の皆さんの努力によって、こうした事態も収束していきました。

その後、引き続き15年間、会長を務めました。

（会員数：1600世帯、約4000人、加入率100%）

## 自治会活動には何が大事か

### ヒトをこそ大事に

自治会にとって大事なことは、「人をつくること」「子どもを育てること」

「故郷は遠くにありて思うもの」ではなく、「故郷は近くにありて愛するもの」に！

互いの見守り：＝「まずは両隣だけに集中して、見守りを充実する」こと

＋ 郵便・新聞配達および電力・ガスの検査で気づく異変情報との連携

これによって、5年後には、「交通事故・孤独死ゼロ」を達成しました。

## 自治会運営の四本柱

- 市：住民が主人公のまち。＜何でも言える場＞＜役員が主人公になったらダメ！＞
- 能：能力・技術・知恵のある人を人材バンクに登録！困り事対策で高校生・大学生も。
- 工：工夫・アイデアを求め続ける！ 大学生の企画を採用：防災フェスタ
- 商：コミュニティ・ビジネスへ！ 不用品を住民が加工して商品化；高齢者事業団

## 自治会はなぜ必要なのか

### 人間一人では生きていきません

思いやり、助け合いの社会が必要です。

縁あってここに居を構え、ここで子どもを育て、ここで死ぬことができて幸せだった；

そう思えるような街、まちを、心を一つにして仲間みんなで作り上げましょう！

自分たちだけじゃなく、他の人たち（大学生・企業など）とも連携しつつ。

### ゆりかごから墓場まで

感謝の気持ちをもって、人を大事にすること

コミュニケーションの場をしっかりとっておき、維持し続けること

弱者の存在・状況を常に把握して、接触し合い、いざという時に協力できる条件を！

＜車いすの人 16 人、ペースメーカーの人 22 人、話せない 4 世帯、外国人 7 か国から＞

自治会葬儀：遺体引取り手配・火葬の手続き等・安い経費で・その後の法的相談まで

### 五気力

- 元気・・・元気がすべての源
- 陽気・・・楽しくなければうまくいかない <愚痴を行ってはダメ>
- 根気・・・続けること
- 強気・・・行政に向かう時は特に
- やる気・・・これがなければ始まらない

## 質疑応答

会長になった年のイジメについて、何故警察に行かなかったのか？

やっている人は分かっていたが、犯罪者を出したくなかったからです。  
仲間たちが頑張ってくれました。

つながりを強めるためにどんなことを？

自治会事務所に専従職員を配置し、相談窓口を設置しています。

31の区（約50世帯規模）があります。各区が自立して、きまりを作り、計画を立てて活動します。

仲間意識を育てることも大切です。第一日曜は「掃除の日」として交流と見守りが行われますが、やり方は各区に任せています。

住民の自発的な参加を求めます。「\*\*日、運動会をやります。協力員を募集します。」と呼びかけます。参加者には良い景品を用意し、全員に弁当を提供します。毎年、120人に特別デザインのシャツを配ります。

シニアクラブ等との連携は？

120名位の会員がいます。輪投げ、ゲートボール・グラウンドゴルフなど沢山のグループが活動しています。新年会や暑気払いは一緒にやっています。

今、働く人が増え、自治会役員のなり手がいないのですが・・・？

時間調整を十分にやり、集まれる時間を慎重に決めます。

高齢者も高齢理由で活動引退ではなく、サポーターを付けて活動してもらいます。掛川地方のお茶を特別に製造してもらい、これを高齢者たちに配布しています。

女性の活動は？

女性の困りごとに対処し、女性が活躍する場として、大山MSC（ママさんサポートセンター）を立ち上げ活動しています。行政との情報交換も大事にし、女性一人ひとりに声をかけることに努めています。

## 自治会のお金の使い方は？

自治会にとって何が必要かを皆で話し合います。旅行に行くこともあります。

## ご主人は？

私の夫は、私の活動を否定したことはありませんし、苦勞を共にしてくれます。

## 周辺地域との連携は？

団地内にはスーパーもありませんので、イナゲヤとかコープ東京に移動販売をやってもらっています。

周辺の農家さんとは、「作付けした野菜（ex.ほうれん草）の1畝」を、\*月\*日まで  
に収穫するという条件で事前契約（ex.3000円）して、住民が新鮮な野菜を入手できる  
ようにしています。このやり方は、農家さんを支援することにもなります。



## 本講座参加者の感想・コメント

T.K: 岩殿満喫クラブ・幹事

- 実際に活動家としての意見が聴けて、良かったです。
- 我が街の今後の展開には、良い講座であったと思う。
- 「住民が主人公のまち」のため、自治会名簿登録の徹底が必要であると痛感した。
- 殿山共同農場も、作付けした野菜の一畝を会員に、収穫する条件で、支援するのもよいと思う。

M.H: 自治会次期会長

日本で一番住みやすい団地として注目を集めている団地の自治会長を15年間にわたって務めてきた佐藤良子さんの講演を聞いて驚きました。これと同じことは自分にはできないと。不正はびこる自治会を、15年かけて、住民に必要とされる自治会に作り替えたのです。

殿山自治会には不正はないと思います。ごく普通の自治会ではないでしょうか。しかし、役員のなり手が無いという状況は、住民に必要とされる自治会なのか。

「ローマは一日にして成らず」

殿山自治会の最初の一步は何か？

S.M: 自治会元会長

7・8年前、私が殿山町自治会役員をしていた頃、東松山市松山活動センターにおいて自治会連盟が主催する佐藤良子氏の講演を聞き、登場する自治会役員（その後の大山自治会長、佐藤氏）痛快劇映画を見ているような印象が残っています。

その後も、15年間にわたって会長をつとめられ、自治会の活動を高く評価され数々の賞を受賞され、会長を辞められてからも、全国で公演活動しているとのこと、前向きな姿勢に感動しています。

私も現在、趣味の会のリーダーをしています。自治会で経験したことが大変役に立っています。古希の年齢になりましたが、「五気力」忘れずに、これからも生涯学習として絵画を学びながら、充実した人生をめざしたいと思っています。

最後になりましたが、お身体を大切にして、全国の自治会の皆さまへ、「街づくり」の話をして下さい。

A.H: 共同農場次期代表

佐藤先生のお話を聞きまして、大変感動いたしました。

この町ができて40年近くになりますが、なかなか溶け込めない人が沢山います。

それは、仕事を退職してもサラリーマン根性が抜けない（プライドが高い）ゆえに、何かのために役に立ちたいと思っても、一歩が踏み出せない。どうしてか？

それは、高齢になって町内に友だちができないことなどではないかと思います。話し相手がいなくてもなれば、自治会に関心が無くなるのも当然かとも思われます。この町はそういう町で、これからも変わらないんじゃないかなと、思っています。

自分は、先生のお話を参考にさせていただいて、これからも、街の活性化のために力を尽くしたいと思っております。

大変ありがとうございました。

## N.E

お話を伺いまして、今は大変成功していらっしゃる、また、ここまでには紆余曲折おありだったと伺いました。両隣を見守りすること、大変良い事です、余計なことと思われる方もいらっしゃると思います。人それぞれお付き合いの仕方が違いますので越権行為にならないよう、近くの方で困っていらしたら声をかけるくらいのことが、お互いに心置きなくお付き合いできるように思います。また、防災の時などは、お互いに声を掛け合い、助け合い協力し合っていかれたらと思います。親切という名のおせっかい、そっとしておく思いやり、ということもありますので、仲良く暮らしていきたいですね。

お話を聞かせていただきまして、有難うございます。

## K.O：共同農場広報担当

爽快感をもって拝聴させていただきました。有難うございました！

傑出した素晴らしいリーダーの下で取り組まれておられる大山自治会の方々が羨ましい限りです。殿山もこれまで「人材リスト」等々、議論はすれど成果は得られていません。

忸怩たる思いです。

## K.O：住民の自主活動リーダー

佐藤前会長さんのはつらつとしたご様子にびっくり致しました。

本当にお若いです。気配りもすごいですし。

充実した日々を送ってらっしゃるのでしょうかね。

きめ細やかな視点からの改革を、柔軟な思考で成功させられたご努力には頭が下がります。

ほとんどの方は、住み慣れた地域で安心して最後まで過ごすことを望んでいると思いますが、その環境を整えるのは大変なことだと思います。

「魅力ある自治会にするための取組み」「多数のボランティア登録者」「高齢者名簿



作成」「専従職員の配置」等、どれも参考になることばかりです。

ただ、

- ・高齢化率が60%以上になっても、自治会は維持できるのか？
- ・価値観の多様化により、地域での意識の共有が難しくなっていくのではないか？
- ・安否確認も、新聞購読者や郵便物の減少、隣人との関係などから、発見しづらいのでは？(トラブルにより全く付き合っていない人や隣だから付き合いが難しいという話をよく聞く。)

気になりました。

M.K: 共同農場次期副代表

まず初めに、佐藤さんが自治会活動をやる切っ掛けの話をされましたが、人として強い信念を持っていらっしゃることを知り、感動しました。

- 1) 強い正義感を持ちながらも、じっくり話し合い、理解を得ようと努力するやり方が、仲間を増やしたのだと思います。
- 2) 自治会運営の四本柱も、自らの体験から教訓をえる一方、住民の皆さんの意見・アイデアを十分取り入れて創られた共同活動の基礎だと思います。
- 3) 活動が活発になるのに合わせて、視野を広げ、目配り気配りを行き届かせ、感謝することを重視することを通して、困っている人や話し相手のいない人への支援策を充実させているのだと感じます。
- 4) 自治会活動を進めるためには、「住みよい町をみんなで創り上げること」について、自治会役員の意識の共有が大切であると思いますが、「五気力」はその意味で重要な意識付けであったと考えます。

最後に佐藤さんが言われたように、「自治会役員にやってもらう」「自治会に任せる」ではなく、「住民が気軽に楽しく参加する」「自分ができる範囲で互いに協力し合う」と思えるような環境作りが大事なんだと思いました。

H.T: 共同農場代表

佐藤先生は、抜群の企画力と指導力を持ち合わせた方で、それによって15年間自治会長を務めあげた事と感じました。特に、住民に寄り添った数々の活動、例えば住民登録による住民の有事の時の対応等、安心した街づくりに力を入れた事、また住民が無くなったときに葬儀を自治会で執り行っている。一般的に自治会活動では考えられないことである。これらの企画・提案を住民の皆さんに理解を得るには、佐藤先生の強力な企画力・指導力があつたと思われまふ。その他、佐藤先生の進めたことは多数あります。

今回、全国に知られた著名な先生に、特別に、殿山町自治会のために講演会をしていただきました。その恩返しに、殿山自治会としては何をやるべきか、提案したい。

新しい自治会長は期間中、目玉になる事項を進める。例えば、

- |             |         |         |
|-------------|---------|---------|
| ・新しい夏祭りをつくる | ・趣味の集い  | ・歩け歩け   |
| ・花いっぱい運動    | ・からおけ大会 | ・ラジオ体操  |
| ・バトミントン     | ・テニス    | ・ソフトボール |
| ・釣り・囲碁・将棋   |         |         |

これらのグループに活動資金を助成する。

S.K：民生委員

長い間自治会の会長をされたことに、感心しました。新しいアイデアを考えだし、住民の方たちと一緒に新しい行事を進めていくには、大変な努力が必要だと思います。大山自治会で実施されている先進的活動の一つでも殿山でも始められたらいいのではないかと思いました。

まずは、多くの方たちと話し合いの場を設けることが必要ですね。微力ながらお手伝いしていきたいと考えていますので、よろしくお願いします。

K.N：自治会会長

大山自治会では、活発な活動がされています。

我が自治会でも、このように多彩な活動部門をバックアップし、増やすことにより、コミュニケーションが良くなり、多くのアイデアも呼びこめる手段となりうる、と感じました。

高齢者が多いので、楽しめる場所作りが大切だし、高齢者が高齢者のリーダーとなり、高齢者を引っ張ることが大事だと思います。

我が殿山町の若者が少ないのは、地理的なもの（職場環境が都心集中、若者を引き付ける魅力は都心に多い）が大きいと感じます。これも、国の政策が都心中心であるので、政策を変えない限り現状変更は無理でしょう。

ただ、30歳～50歳の独身者が殿山町にも大勢いるので、この辺のフォローについて、市と近隣自治会（平野地区）でやれるのではないかと思います。

空き家対策も若者対策を包含して考えたものにし、市と協議会をつくれればと思います。いずれにしても老後対策には、コミュニケーションをとれることが必要で、どんな形でもよいから、参加できる種類と間口を広くするのが必要ではないでしょうか。

殿山自治会にも多くのヒントを与えてくれました。やる気が大切だと思います。

K.T：自治会前会長

以前殿山町自治会長に就任してからある日、共同農場代表高野氏から自治会運営のバイブル的なものとして文庫本を渡されて興味深く読んだことがあったが、まさか講演が聞けたとは只々幸運と言うしかない。

小柄な身体に熱量はすさまじく、あらゆる難題を飲み込んだら溶かし込んでしまう圧倒的なパワーは無限に近くその存在感は抜きん出ている。そして会員が必要としている問題をいち早く見抜き、仲間を巻き込んで実践する。これは秘めた【信念と覚悟がなければ】出来ない。まさに肝っ玉会長で15年も情熱を持ち続けて「決してあきらめられない」この姿勢が会員の共感を獲得し、古い悪習を打破し、会員の声に耳を傾けることによって、前に向かった改革が出来たと思われる。只やみくもにこれら色々な方策を取り入れても、それぞれの自治会は歴史も有り、事情が異なるのだからそれは参考にしながら取り組む必要がある。話を聞いて参考になった事例、取り組みとしては

- ① 会長は会員の動向を把握する。
  - ② 全世帯に保険をかけた。行事、他の活動に安心して従事できる体制を構築した。
  - ③ 全世帯の会員名簿(内訳：世帯主、家族数、小学生、幼児、高齢者)の作成等
- これらは必要と分かっている中々会員の理解が得られず手の付けられない分野であるが、しかしながら一度体制を作ってしまうと即、身近な情報源として活用できるし、会員に還元できる。それを実現したのだから見事というしかない。

結びに、佐藤良子前大山会長は周りにも気配りも出来るし、何よりも明るく、めげない。これからは身体に留意されてマイペースで活躍されることを祈念しておりますし、このご縁に感謝しながら有難うございました。

## その後の参加者たちの様々な声・・・

編集者：古谷直道

- 各年代で、感じ方・考え方・動き方が、違うことに留意しないとね。
  - ◇ 女性と男性でも、そうですよ！
  - ◇ テーマによっては、若い衆の意見やアイデアを大事にしてほしいね！
  - ◇ 殿山では、65歳以上が人口の42%だって！高齢者が半分近く居ることだね。
- だから、無差別・平等だけでなく、特定のテーマについては、特定の人たちに、特定の注意、そして特定のお金も注ぐことが必要だし、殿山にとっては大事なことだね！

◇ 近くに休耕の田んぼがあるんだよ。その地主さんから、やってくれと頼まれてんだ。

◇ そりゃすごいね！殿山の皆に声かけて、田作り・田植え・稲刈りを皆でやろう！

◇ そしたら、「米と野菜は、自給自足」となるんかね？！

- 災害防止は大事だけれど、忘れやすいことも注意したいね。
  - ◇ 自助・共助・公助というけれど、一番の基本は自助だよ！！
  - ◇ 自助がある程度なければ、共助も公助もうまくいかない。
  - ◇ だから自助が確立できるように、
 

共助・公助が助けてくれるとありがたいね。
- 私はね、自宅に「災害自助ボックス」を作りたいんだ！
 

でもね、やんなきゃいけないことが多すぎて、どうしていいか、

一歩前に進めないんだよ！

  - ◇ そりゃ、「困り事相談窓口」に行って、相談するといいね！！

殿山の課題を整理した上で、もう一度、佐藤さんの話をじっくり聞きたいね！